

キラ☆キラ

北九州市市民活動サポートセンター

No.244
令和6年 秋号

目次	
1P	表紙
2~3P	認定 NPO 紹介
4~6P	サボの日
7P	サボセンからのお知らせ
8P	421Lab.のページ

特集：認定 NPO の活動紹介



NPO 法人の中には、特定非営利活動促進法に基づき認定された「認定(特例認定)NPO 法人」があり、税額控除制度が設けられています。これらのNPO 法人に寄附をすると、最大約 50%が税額控除されます。

今回は北九州市内の認定(特例認定)NPO について紹介します！



北九州市の認定(特例認定)NPO法人



抱樸は生活困窮者や社会からの孤立状態にある方々への伴走型支援に取り組んでいます。活動は、住居や就労、子ども支援など多岐に渡ります。地域で支い合えるまちづくりを目指した「希望のまちプロジェクト」を推進中です。

特定非営利活動法人抱樸
(認定 NPO 法人)

認定日:平成25年11月26日



NPO法人響ホール室内合奏団
(認定 NPO 法人)

認定日:平成28年12月20日

※特例認定期間平成26年12月11日~



響ホール室内合奏団は、響ホールを中心に1998年より活動する北九州初のプロの弦楽合奏団です。ミュージックアドバイザーは前東京芸術大学学長であり、ヴァイオリニストの澤和樹氏。英国や韓国など海外での公演も行い、定期演奏会は、全国・海外に向けてライブ配信をしています。2012年から年10か所市民向けの出張無料演奏事業「音つむぎ」コンサートも行っています。



ロシナンテスは、北九州市出身の川原尚行氏が、外務省の医務官を辞めて立ち上げた国際NGOです。必要な保健医療が受けられないアフリカの村落部で医療が届く仕組みを整備し、一人でも多くの命を救うことを目指しています。

特定非営利活動法人ロシナンテス
(認定 NPO 法人)

認定日:平成28年12月28日



特定非営利活動法人フードバンク
北九州ライフアゲイン
(認定 NPO 法人)

認定日:令和3年3月29日

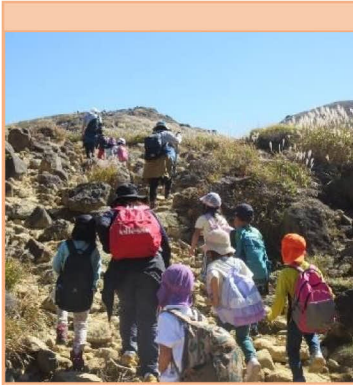


フードバンク北九州ライフアゲインは「生まれ育った環境のために満たされた食事ができない、十分な教育を受けれられない、寂しい思いをしている子どもを北九州市からゼロにする」を使命として、食料支援や学習支援、養育支援などの活動を行っています。



NPO法人光楽園(認定 NPO 法人)

認定日:令和5年7月10日



光楽園は、こどものいのちが輝く共生社会の実現を目指し、認定こども園おひさまいっぱい光楽園・みんなの光楽園そら(児童発達支援) & あおば(放課後等デイサービス)の3施設の運営と、様々なこどもの支援に取り組んでいます。



SALASUSU (サラスー)は、カンボジアの公教育改革に取り組んでいます。SALAは「学校」SUSUは「頑張る」の意味です。誰もが人生の旅を楽しめる社会を目指し「誰も取り残されない教室」の実現を目指します。

特定非営利活動法人 SALASUSU
(認定 NPO 法人)

認定日:令和6年1月19日



NPO法人好きっちゃ北九州
(認定 NPO 法人)

認定日:令和6年2月7日



好きっちゃ北九州は、『自分のまちが好き!』と思えるまちづくりを目指しています。

子ども達と一緒に『まち探検』や、地域住民の共通テーマである防災・防犯など、ローカルなまちで活動しています。

『好きっちゃアカデミー』という大学生・高校生たちの活動母体で、多くの若者が活躍しているのも特徴です。

一緒に活動・応援していただける方を募集しています!



セーバー風・ジャパンは、スポーツイベント等の参加者や災害被災者等への救護活動を行い人命の救助、被害の軽減に資するとともに、救護知識を持つ警察・看護師OB等に活気ある活躍の場を提供しています。

NPO法人セーバー風・ジャパン
(特例認定 NPO 法人)

認定日:令和4年2月21日



特定非営利活動法人 Scuola dei
Bambini

(特例認定 NPO 法人)

認定日:令和5年8月23日



Scuola dei Bambini (スコーラ デバンビーニ)は、自分には世界を変える力があると信じ、幸せな子どもが増えるよう、全ての子どもが多様性を認め合い、尊重しあえる環境のなかで過ごせるように、小学生を対象としたモンテッソーリ教育のオルタナティブスクールを運営しています。

第 252 回サポートセンターの日
NPO 活動発表会

「ドローンとの 未来を考える」

発表団体:公益社団法人
無人機研究開発機構
代表理事:丹 康弘 氏

公益社団法人無人機研究開発機構

無人航空機操縦士資格取得のための国家資格講習、無人航空機の機体認証・型式認証や講習団体への監査などを行う傍ら、プログラミングや画像処理、ドローン飛行許可申請書の書き方など様々なセミナーを開催しています。

また、対話と体験による学習プログラムを通して、子どもたちにドローンの楽しさ、便利さ、危険性などを伝える活動も行っています。



「ドローン (Drone)」と言えば何を連想しますか？

ドローンとは、もともとオスの蜂(ハチ)を指す言葉。一説によると、無人航空機のプロペラから出る「ブーン」という音が、蜂の羽音に似ていることから、無人航空機を「ドローン」と呼ぶようになったそうです。

「ドローンで何がしたい??」

ドローンは垂直上昇下降、ホバリング(空中停止)、水平飛行などが出来ることから、様々な用途に使用されています。

ドローンの需要はますます高まっていますが、効果的に利用するためには、それぞれの目的にあったドローン選びが大切です。

《特性をいかした活用方法》

- 遊びたい! = トイドローン
- 空から写真を撮りたい! = 空撮ドローン
- 農業に利用したい! = 農業ドローン
- 物を運びたい! = 宅配ドローン



「広がる活用方法」

近年はドローンの特性を活かし、豪雨・地震災害の被害調査、人が立ち入ることが困難なインフラ点検、空からチェック出来る害獣対策・監視などにも使用されるほか、海上でのヨットレースや水泳でのフォーム確認など、スポーツ業界でも活用されています。

エンタメ業界で目にすることも増え、東京オリンピックの開会式と閉会式では、空中で立体的な図形を描いたことで注目されました。

「危険性を学ぶことが未来へつながる」

便利なドローンですが、使い方次第で危険が伴うため、いくつかの法規制が定められています。そのうちの一つ【航空法】では、原則、日中での飛行、目視の範囲内、距離の確保などが定められ、違反した場合罰せられます。

規制を守り、正しい使い方を学ぶことでドローンとの未来が広がると感じました。

《最後に皆さんへ》

- ドローンは登録しましょう。
- 航空法などの法律を守って飛行しましょう。
- ドローンの免許を取得しましょう。
- 安全認証を取得したドローンを飛ばしましょう。



公益社団法人無人機研究開発機構
の情報は、こちらから →



ミニドローンの操作、浮かぶ様子
は、こちらから →



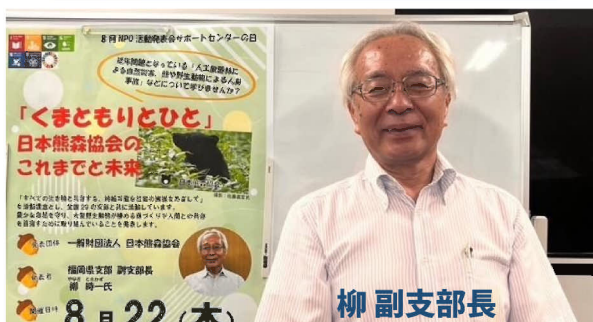


2024年8月22日開催

第253回 サポートセンターの日 NPO 活動発表会

「くまともりとひと」

日本熊森協会のこれまでと未来

発表者 一般財団法人 日本熊森協会
福岡県支部 柳 時一 副支部長

団体の紹介

日本熊森協会は、「クマ」をシンボルに奥山水源の森の保全・再生や大型野生動物の保護に取り組んでいる、全国組織の実践自然保護団体です。

なぜ「クマ」をシンボルに!?

クマは日本で1番大きな大型野生動物で、山の植物の実などを主食にする雑食動物です。クマが住めるだけの環境があるということは、多種多様な生き物全てが住める環境が整っているということです。熊森協会は、最高に豊かな森を残すために、森の生態系の頂点であり、森の守り人でもある「クマ」をシンボルに活動しています。

なぜ熊は人里に現れるのか?

祖先が大切に残してきた森は、全生物の命と産業を支えてきた、滋養豊かな水源の森であり動物と人間との棲み分け、共存した生活ができていました。それが、戦後の林野庁の拡大造林政策により手入れが行き届かない人工林の増加、太陽光発電などの建設による森の伐採が進み、生物も植物も生き残れない森となっていきました。また地球温暖化も森の劣化を加速させています。その結果、野生動物たちは空腹に耐えられず、食料を求めて里に出てくるようになりました。本来クマは臆病な性格で、人間を襲う習慣はありません。人身事故は、怖がるクマが人間から逃げようとして起こるものです。

もしもクマに遭遇した場合は、刺激しないように大声を上げたり急に走り出したりせず、静かにゆっくりと後ずさりし、その場を立ち去ってください。

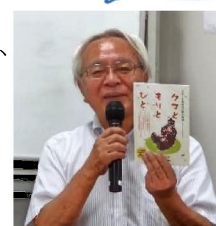
活動について

クマや動物が棲めなくなった奥山や人工林は、生態系のバランスが崩れ、湧き水の減少、豪雨などで山崩れや土石流が多発しています。人類が生き続けるには、保水力抜群の豊かな水源となる森を、生き物丸ごと残すことが必要です。そこで熊森協会は、放置人工林の間伐や実のなる広葉樹の植樹、買い取った山を自然の森に戻すなど、様々な保全活動を行っています。また野生動物の保護、子どもや学生向けの環境教育活動も行っています。詳しくは日本熊森協会のホームページをご覧ください。

柳副支部長より

会報誌や書籍もあります

人と動物の棲み分け、共存する社会づくりのためには、大きな自然保護団体が必要です。一人一人の力は小さくても、多くの人が集まれば、国を動かし、自然を守る法律や制度をつくることができます。数は力です!! 福岡県支部では、講演会の開催やイベントでのパネル展示、植樹会の参加、本部で飼育している熊に餌のどんぐりを送るなど、全世代が参加できる活動を行っています。活動に参加できなくても、会員の1人として熊森を支えていただけたら嬉しいです。



☆ 熊森クイズ ☆

スギ・ヒノキを、実のなる広葉樹に植え替えるとうなりますか?

- ① 美味しい水を作ってくれる
- ② 動物たちが人里に来なくなる
- ③ 豪雨災害が減る
- ④ 花粉症がなくなる



答え: 全部○



第 254 回サポートセンターの日 NPO 活動発表会

今日から始める災害対策

～ワタシのベストプランナーはワタシ～

NPO 法人 K9 Trident Protection Group

理事 大村 孝子 氏



林理事長

大村さん

メイス

今日は
お留守番

団体の活動内容

K9 Trident Protection Group は「犬と共に社会を守る」を合言葉に、地域の方々が少しでも安心して暮らせるまちづくりを寄与するため、警戒犬と共に防犯・救護・防災を行う NPO 法人です

サバイバル×都市災害

インフラを失った都市や街は砂漠に次いで生き延びることが困難なシチュエーションだそうです。災害などでインフラが途絶えてしまったら…

平時のうちに一人一人が備えれば、災害が起きた時に自身の命を守る自助につながるだけでなく、パニックになることを防ぐことで共助にもつながり、災害後のリカバリー期がより豊かになるかもしれません。

人が生きるために必要な命の五要素+シグナリング



以下の要素を持っているか、チェックしていく順番に並べています。

- ・「**空気**」… 3 分以内（手に入れなければ命の危険がある）
- ・「**シェルター**」… 3 時間以内（体温保持、熱すぎても寒すぎても人間の体命の危険がある）
- ・「**水**」… 3 日以内（脱水症状が出ると動けない）
- ・「**火**」… 1 週間以内（明かりは精神的な支え）
- ・「**食**」… 3 週間以内（食事を手に入れることができれば命をどうにかつないでいける）

これらに加えて、救助を呼ぶための道具、「シグナリング」を備えましょう。



非常用持出袋を五要素で仕分けしてみました！

非常用持出袋の準備とポイント

援助が届くまでを想定して作る非常用持出袋は五要素を意識して準備しましょう。大体女性が持つのに適正といわれているのが重量 6 キロ（何かの時に走れるぐらい）。ご自身の体格や運動習慣に応じて作ってみましょう。

まずは非常用持出袋を 100 均でも大丈夫なので、とにかく準備することが大切です。市販のものでも厳選したものを準備してくれていますが、それを活躍させるためにも、購入したら必ず開封し、以下の作成のポイントを参考に、自身に必要なものを足して行ってください。

- ・「**どんなシナリオを想定しているか**」
- ・「**命を守る五要素+シグナリング**」
- ・「**バックアップ**」
- ・「**実際に使えるものか**」



実際にどのように使うのか試してみました。

まとめ

非常用持出袋を準備する際に、自分が好きなものや心がワクワクする物、実際使えるものから非常用持出袋を準備するのがお勧めだそうです。袋の見直しの理想は季節ごと。季節によって防寒具は変わります。学んだ内容は家族や身近な人と共有し、防災について考えるきっかけになれば幸いです。

K9TPG の取り組み

K9TPG では、今回のサポの日で実践して下さった防災に係る啓発活動のほか、防犯・救護などの講座やセミナー、地域の依頼を受けてのパトロール活動などを実施しています。

内容は地域や依頼主のニーズに沿って柔軟にカスタマイズできるそうです。

まずはお気軽にお問合せ・ご相談ください。

NPO 法人 K9 ホームページ ⇒



11月サポートセンターの日

11月サポートセンターの日 NPO活動発表



小さな体に秘めたパワー!!
ニホンミツバチの不思議な世界

2024.11.21 (木)

18:30 → 20:00

【参加無料・定員20名程度】

発表団体: NPO 法人グリーンワーク

会長: 舛本 哲也氏



「緑豊かなまちづくりの推進」をミッションとし、保育園・幼稚園での園庭芝生化事業など生き物を通じた環境保全活動などに取り組む団体です。
今回は、「山田緑地ミツバチプロジェクト」を中心とした活動発表会です。
小さなミツバチが持つ大きな役割を、知っていただきたいと思います。
ぜひ、ニホンミツバチの不思議な世界を覗きに来てください。

参加者特典!! 巣みつの試食とハチミツ味比べ有

★会場・お申込み・お問合せ先★



北九州市市民活動サポートセンター
〒806-0021 北九州市八幡西区黒崎3-15-3 コムシティ3階
TEL: 093-645-3101 FAX: 093-645-3102
Mail: info@kirakirakitaq.jp



ニホンミツバチプロジェクト

(小さな体に秘めたパワー!!
ニホンミツバチの不思議な世界)

発表団体: NPO 法人グリーンワーク
会長 舛本 哲也 氏

日時: 11月21日(木)

18:30~20:00

会場: 北九州市市民活動

サポートセンター(コムシティ3階)

定員: 20名(要申込・先着順)

申込: 電話・FAX・e-mail

問合せ先: 北九州市市民活動
サポートセンター

【税理士相談】

毎月第2水曜 17時~20時 (1コマ1時間)

実施。(無料・要予約)

いつまでも逃げてられない、会計の悩みにマンツーマンでご相談をお受けします。

帳簿のルール、事業報告書の作り方など。

【note 投稿中!】

市民活動サポートセンターのセミナー、イベントなどの告知や当日の様子、各団体のイベント等のレポートなどを投稿しています。

是非のぞいてみてください!



【NPO 法人入門説明会】

毎月2回、第1木曜・第4月曜 19時~20時に開催。(無料・要予約)

「NPOってなんだろう?」「申請書類の作り方は?」など基本的なご質問から、法人運営に関するご相談まで。

【NPO の活動を紹介します!】

市民活動サポートセンターHP(キラキラネット)で団体の紹介をしています!

広く市民の方々に日頃の活動を知ってもらいませんか?掲載を希望する場合は

申込みフォームをサポセン宛てに送付ください!



421Lab だより Vol.10

こんにちは！北九州市立大学地域共生教育センター（421Lab.）です。私達は、地域で活動したい北九州市立大学の学生と、学生と一緒に課題を解決したい地域の方々と繋ぐ活動を行っています。本号でも前回に続いて421Lab.で日々活動している421Lab.学生運営スタッフについて詳しくご紹介します。

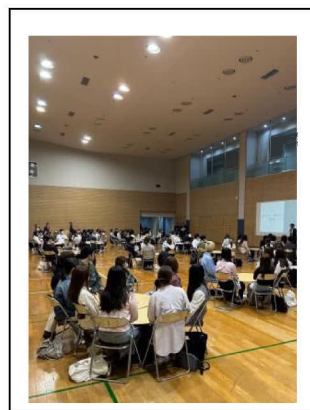


プロジェクト支援グループ

421Lab.には、地域清掃や防犯防災活動、子ども食堂の運営など、学生が主体となって地域貢献活動に取り組む20ものプロジェクトが存在します。そんなプロジェクトたちの活動をサポートする「プロジェクト支援グループ」について、具体的にどのような活動を行っているかをご紹介します！

☆前期スタートアップ研修☆

年度初めに、プロジェクトに所属する学生を対象とした「前期スタートアップ研修」を開催しています。この研修会では、プロジェクトごとに今年度の目標を決め、活動の方針を共有しています。また、新しくプロジェクトに加入したメンバーと交流する時間を設け、メンバー間の交友を深めることも目的としています！



☆リーダー交流会☆

リーダーとしてプロジェクトを運営していくことは大変なことが多く、リーダーならではの悩みもあります。そこで、リーダー同士で意見を交換する場を提供し、それぞれが抱える課題を解決する一助となるのが、この「リーダー交流会」です。中にはこの会をきっかけにコラボ企画が成立するプロジェクトもあり、各プロジェクトを繋ぐ役割を果たしています！

このように、「プロジェクト支援グループ」のサポートを通じて421Lab.所属のプロジェクトは円滑に活動を行うことが可能となっています。421Lab.の活動にご興味を持たれた方がいましたら、お気軽にお問い合わせください！

421Lab.では、20もの学生プロジェクトが様々な地域課題の解決に取り組んでいます。詳しくは右の二次元バーコードより、公式HP、公式note、Instagramをご覧ください！



〒802-0841

北九州市小倉南区北方4丁目2番1号

公立大学法人北九州市立大学

地域共生教育センター（通称：421Lab.）

TEL 093-964-4092



公式HP



公式note



Instagram



北九州市
市民活動
サポートセンター

北九州市八幡西区黒崎三丁目15番3号（コムシティ3階）

☎ 093-645-3101 FAX 093-645-3102

HP <https://www.kirakirakitaa.jp> info@kirakirakitaa.jp



開館時間 月曜日～土曜日 10:00～20:00
土・日・祝日 10:00～18:00
休館日 第1・3・5月曜日、年末年始